

3 基幹事務事業

- 1 広域的な幹線道路網構想及び計画の策定並びに事業の実施に必要な連絡調整に関する事務
- 2 市町村間の人事交流の連絡調整に関する事務
- 3 まち・ひと・しごと創生法第10条第1項に規定する計画で、広域連携によって取り組むこととして広域連合が定めたものの策定及び実施に関する事務(産業振興と人材育成の拠点事業)
- 4 広域的な文化芸術活動を支援する施設の設置、管理及び運営に関する事務
- 5 広域的な課題の調査研究及び事業化に関する事務
 - (1) 景観形成プロジェクト
 - (2) ご当地ナンバー推進プロジェクト
 - (3) アリーナ機能を中心とする複合施設検討
- 6 広域行政の推進に係る事業
 - (1) 民俗芸能保存継承事業
 - (2) 環境マネジメント事業
 - (3) 在宅医療・介護連携の推進
 - (4) 診療情報連携システム運営事業
 - (5) 看護師等確保対策修学資金貸与事業
- 7 介護認定審査会の設置及び運営に関する事務
- 8 市町村審査会(障害支援区分に係る審査)の設置及び運営に関する事務
- 9 養護老人ホーム入所判定委員会及び特別養護老人ホーム入所調整検討委員会の設置並びに運営に関する事務
- 10 地域生活支援事業としての相談支援事業に関する事務
- 11 広域的な障がい者支援に関する事務
- 12 広域防災計画(広域的な防災の取組)の実施に必要な連絡調整に関する事務
- 13 消防に関すること(消防団、消防水利施設及び防災計画に関する事務を除く)
- 14 知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例により広域連合が処理することとされた事務
- 15 ごみ処理施設の整備及び一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定に基づく事業の実施に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関すること
- 16 ごみ処理施設の管理及び運営に関すること
- 17 し尿処理施設の設置、管理及び運営に関する事務



南信州広域連合

〒395-0003 長野県飯田市上郷別府3338-8
 TEL:0265-53-7100 FAX:0265-53-7155
 E-mail:kouiki@minami.nagano.jp
 ウェブサイト:https://minami.nagano.jp/

南信州広域連合 第5次広域計画〈概要版〉

南信州地域は比較的早い時期から、市町村の枠を超えた広域的な視点に立った地域づくりに取り組んできました。平成11年(1999年)度に南信州広域連合を設立し、地域に共通する課題の解決や、地域の一体的な発展を目指した活動を行ってきました。平成21年(2009年)7月には全国でもいち早く定住自立圏形成協定を締結し、各市町村が役割分担と連携とによって、より効率的な地域経営を進め、地域全体の持続可能性を高めようと努めています。

リニア中央新幹線の開業については、令和6年(2024年)3月にJR東海が目指してきた令和9年(2027年)開業を断念する方針を明らかにしました。これにより開業時期は、令和16年(2034年)以降になる見通しとなり、不透明になりましたが、この期間をリニア時代に向けたまちづくりの重要な期間ととらえ、環境と開発とのバランスのとれたまちづくりに向け、南信州広域連合の活動の基本となる第5次広域計画を策定しました。

地域の現状

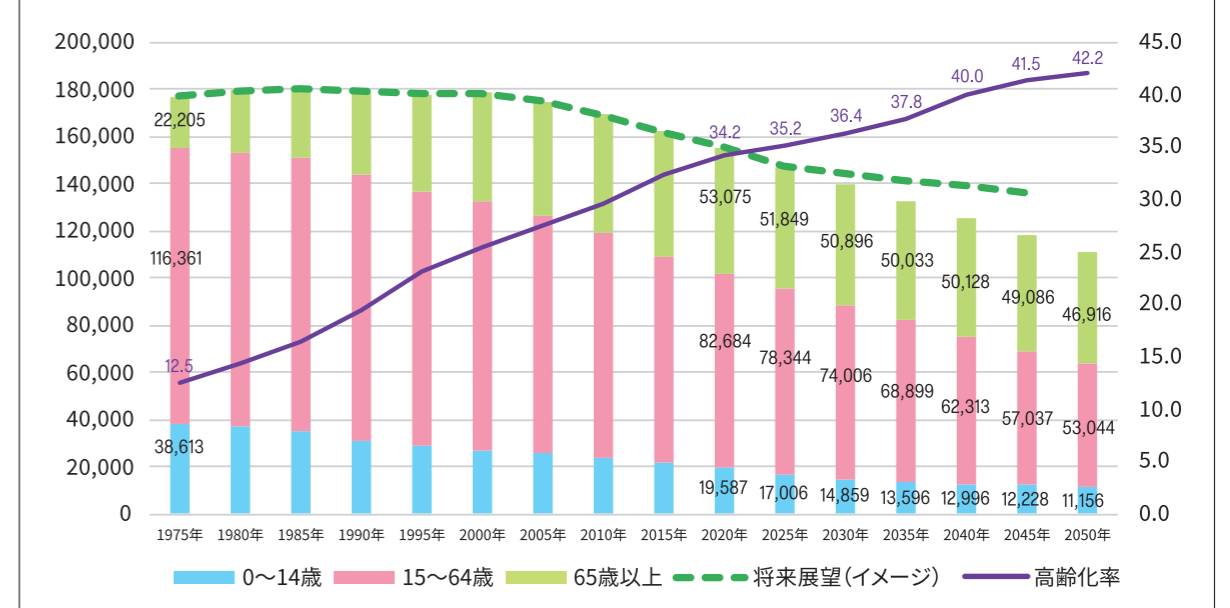
市町村別人口及び世帯数 令和6年10月1日現在

市町村	世帯数(世帯)	人口(人)	老年人口65歳以上(人)	老年人口割合65歳以上(%)
飯田市	39,190	93,529	31,404	34.0%
松川町	4,542	12,023	4,275	35.6%
高森町	4,563	12,467	4,109	33.2%
阿南町	1,465	3,825	1,835	48.3%
阿智村	2,183	5,758	2,248	39.0%
平谷村	196	372	147	39.5%
根羽村	378	793	411	51.8%
下條村	1,141	3,288	1,216	37.0%
売木村	268	497	226	46.6%
天龍村	487	1,000	617	61.7%
泰阜村	553	1,386	602	43.4%
喬木村	2,020	5,626	2,089	37.1%
豊丘村	2,174	6,205	2,115	34.1%
大鹿村	498	914	401	43.9%
計	59,658	147,683	51,695	35.3%

長野県毎月人口異動調査による。



飯伊地域の人口推移と将来予測



1975年から2020年までは国勢調査
 2025年から2050年までは国立社会保障・人口問題研究所による将来推計値
 将来推計(イメージ)は各市町村の総合計画若しくは人口ビジョンの合計値

1 課題

- I 人口減少社会への対応
- II リニア中央新幹線・三遠南信自動車道への対応
- III 社会基盤の維持

課題解決の3つの手法

- ア 行政サービスの連携
- イ 地域課題への対応
- ウ 広域連携推進プロジェクトの設置

2 重点とする取組

I 地域を担う人材確保の取組

1 社会システムを支える人材確保

- 移住定住等の促進による域外からの人材確保
- 地域の生徒や内外の学生に対する地域の魅力の啓発やキャリア教育
- 就労環境の改善、シニア層や女性が働きやすい環境整備
- 副業(複業)・兼業、テレワーク、ワーケーション等、多様で柔軟な就労形態の推進
- 地域での就労を条件とした奨学金・修学資金制度の充実や返済支援

2 医療・介護人材確保

- 医師等の医療人材の確保に向け、医師会、包括医療協議会、県、構成市町村等、関係機関と連携した取組の推進
- 介護人材の確保に向け、介護助手育成やマッチング事業など更なる取組の多様化
- 医療、介護等における限られた人的資源を有効に活用し、必要なサービスを提供できる地域医療連携推進法人などの体制やシステムの検討
- 地域医療アドバイザーを配置し、専門的な知見を生かした地域医療の課題解決への取組

3 高等教育機関との連携による人材育成事業

- 地域の人材育成には既存の教育機関の更なる充実
- 将来の4年制大学、学部、大学院設置の可能性への期待を持ちながら、信州大学に限らず広く高等教育機関との連携を推進
- 地域の高校のあり方について検討

II リニア時代を見据えた地域づくり

1 移住定住と関係人口の推進

- 当地域の情報発信と移住定住の促進に向け、市町村の参加を得ながら移住相談会等を実施
- 地域全体で連携した関係人口創出事業を実施し、成功事例等を横展開していくことなどを通して南信州の知名度向上に取り組む

2 広域観光の推進

- 地域連携DMOとしての株式会社南信州観光公社への支援を継続し、機能強化を図る
- 山岳観光や、サイクルツーリズム、新たなモビリティを活用した二次交通、周遊型観光、クアオルト等、様々な広域観光の可能性と環境整備について、関係機関や構成市町村等と連携して検討

3 地域公共交通事業

- リニア駅周辺整備へ向けた広域的利活用のための二次交通のあり方検討
- 南信州圏域内の公共交通の維持にかかる事項(運転手確保・業務効率化の検討)
- 各エリアでの路線見直しの支援(調査事業等含む)
- 公共交通を利用しやすい環境づくりの推進

4 大学との連携による実証タウン構想

- 水・エネルギーの地産地消モデルを実現するため、信州大学と連携した実証タウンの構築

III 計画的な施設等の維持と財源確保

- 公共施設等総合管理計画及び個別施設計画等に基づき実施

1 点検・診断等の実施

- 定期点検、計画的な点検・診断等を実施し、継続的な施設運営に努める

2 維持管理・更新の実施

- 施設の重要度、劣化状況に応じた修繕等の優先度を判断

3 長寿命化の実施

- 故障する前に計画的修繕を行う予防保全の取り入れ
- 設備を含めた施設全体の長寿命化を推進
- 建替えについては、コストを比較し、最適な方法を検討

4 統合や廃止の推進

- 人口減少や事業の広域化が拡大する傾向に対応し、所管する施設等を4区分に分類
 - ① 存続
 - ② 複合化、集約
 - ③ 民間活力の活用
 - ④ 用途変更及び廃止